

平成29年第1回

仙南地域広域行政事務組合  
教育委員会定例会会議録

平成29年3月22日開議

平成29年第1回仙南地域広域行政事務組合教育委員会会議録

1. 召集日時 平成29年3月22日（水） 午前10時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター会議室
3. 出席委員 教育長 佐藤隆夫，委員 佐藤よし美，委員 佐山富夫，委員 佐藤茂廣  
委員 船迫邦則
4. 説明のため出席した者  
教育次長兼仙南芸術文化センター館長 水戸雅彦  
主幹兼教育係長兼文化振興係長 黒澤良，仙南芸術文化センター次長 玉瀧博之  
主事 大内連太郎
5. 開 会 午前10時

6. 平成28年第4回教育委員会定例会会議録の承認について

佐藤教育長	会議録について承認を求めます。
( 質 疑 )	<ありません>との声
佐藤教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

7. 会議録署名委員の指名

佐藤教育長	私のほか、船迫邦則委員にお願いいたします。
船迫委員	はい。

8. 諸報告

報告第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、平成29年2月26日、当組合第233回議会定例会において、佐藤よし美白石市教育委員会教育委員並びに佐藤茂廣蔵王町教育委員会教育委員長を任命することに同意を得たことをご報告申し上げます。なお、佐藤よし美委員の任期は平成29年2月26日から平成30年3月31日まで、佐藤茂廣委員の任期は平成29年4月1日から平成33年3月31日までである。

( 質 疑 )	
佐藤(よ)委員	昭和56年に白石第一小学校に新任で勤務してから、主に白石市内の小学校に勤務してきました。そのとき三住分校のへき地教育に携わったり、それから病院内にある分校に携わってまいりました。蔵王町に勤務したこともあります。そのときには佐藤茂廣委員にお世話になりました。平成27年の3月いっばいで退職しまして、白石の社会教育委員を経まして、昨年12月に白石の教育委員会に教育委員として就任させていただきました。まだ本当に何もわからない状態です。大河原の方に勤務したことがないので、えずこホールには詳しくないのですが、担任した子どもが発表するというので応援に来させていただいたり、視聴覚の方の研修などで組合には大変お世話になりました。わからないことがたくさんありますので、皆さんに教えていただきながら努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
佐藤(茂)委員	今回継続ということで議会の方から同意をいただきましてありがたく思っております。これまで私も何もわからないでやってきましたが、佐藤教育長を始め、水

佐藤(茂)委員	戸さん、事務局の皆さんの絶大なるバックアップをいただき、ありがたいなと思 いながらやってきたのが真実なところでもあります。今度とも微力ではありますが、 仙南地域広域行政事務組合の教育行政部門のますますの充実のため、発展のため、 少しでも役に立てればいいかなと思っておりますので、今後どうぞよろしくお 願いいたしまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。
---------	---

## 報告第2号 平成28年12月から平成29年3月までの主な事業等の経過について

教育委員会事業について、黒澤主幹より資料1にてご説明申し上げます。

仙南芸術文化センター事業について、玉淵次長よりご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
佐山委員	<p>今年は私もなるべく色んな事業に顔を出して見させていただいたのですが、こちら の地域の文化活動が本当に定着し始めているんだなと実感をしました。大変素晴ら しいなと思いました。例えば、AZ9の卒業生が自分たちでチームを作って活動し 始めるとか、地元住民の芸術活動なども自分たちでやっている、ある程度しかけは するんでしょうが、そこに集まってきていろんなことをやってらっしゃるとい うことが好ましいなと思って見ていました。素晴らしいなと思います。それから、ア ウトリーチ関係も充実させていただいて、ここだけでなく周りの市町村も含めて、広 い範囲内で参加の可能性を広めていただいて、しかも小中学校の子どもたちへの関 わりなど、刺激を与えていただけるというのは、これからも継続してこのような活 動をやっていく上での土台となると思うので、今後の展開が期待できるという ことで素晴らしいことだと思って見ていました。また、アーティスト同士の連携や コミュニケーションによって、そこからまた新しいものが展開されている様子を見 て、また次のものを生み出すようなそういう活動につながっているということに、 すごいなと思って見ていました。</p> <p>一つだけ気になるのは、ホールの文化活動の運営をなさる方の人材育成はどのよう にしているのですか。「先輩を見て勉強しろよ」では育たないと思うんですが、意 図して人材育成をやってらっしゃるのか。角田にもホールがありますが、非常に苦 しんでいるところがありますから、その辺のところを教えていただきたいなと。こ れだけの文化芸術活動をやっているのが素晴らしいので、学ぶことがいっ ぱいあるなと思って感謝しています。</p>
教育次長	<p>一つは、全国でやっております財団法人地域創造がやっている「ステージラボ」で あったり、全国公立文化施設協会がやっている各種の研修とアートマネジメント研 修会という年に一回大きな研修事業もありますので、これには積極的に職員に参加 をいただいています。あとはOJTになると思うんですね。日々仕事をしている中 からいろんな研修をしてノウハウを蓄積していくということになるかと思えます。 年間でも20～30人くらいのアーティストに来ていただいているような事業を展 開しますので、そこに一緒に行ってそのワークショップを見学するだけでもすごい 収穫があるものと思います。経験の長い職員とまだ経験の浅い職員が一緒にやるよ うなことに於いてスキルをアップしていくやり方かなと思っています。特に今年度 は非常に事業が多かったので、なかなか余裕がないところで仕事をしていたの ですが、いずれ日々の事業の積み重ねしかないのかなと思っております。その中で人 材が育成されていって、あとは若い方に引き継いでいく時期に差し掛かっていきま すので、その辺のところは考えていかなければいけないかなとは考えています。</p>

佐山委員	一つ要望ですが、いまビデオを見せていただいて、こういうものを、例えば地域の公民館で何かあったときに、見せて紹介できるようにする、それだけでずいぶん違うと思うんですよ。例えば「AZ9に入るとすごいことが勉強できるんだよ」と言葉で私たちが言っても親はなかなか感じないんですが、そういうものを見せて示していただくと説得力があるというか、そういうものを広めていくには非常にいいのかなと。せつかくこういうものを作ってあるので、ぜひとも公民館単位で構いませんので、そういうものを貸し出すとか実際に行ってもらおうという形にして、楽しい姿を見せていただくだけでも集客量というか、啓発になるんじゃないかなと思いますので、その辺のしかけもよろしくお願ひしたいと思います。
教育次長	基本的にはえずこホールで企画制作する事業になるんですが、各市町の方でこういう事業にできないかというようなご要望があれば、それに合わせてこちらから出向いて、各市町の教育委員会と協働してやるということも考えております。具体的に言いますと、今年度は西住児童館との連携で、船岡の小学校の体育館でI S O P Pさんというダンサーの一日体験ワークショップを柴田町の保育士さんたちとある程度連携をしてやっております。各地域で何かこういうことをやりたいというときに、協働で事業を実施するということは十分想定できるかと思ひます。何かご要望等ありましたら、ぜひお知らせいただければ具体的に検討してみたいと思ひますので。見ていただいてお分りのとおり、ホールだけで事業をやっていたのでは、来る方は限られた方々になってしまう訳ですね。しかし、えずこで一番考えているのは、各種の芸術文化活動を通して人と地域が全体的に豊かになっていくというような事業の作り方を考えておりますので、どんどん外に出て行って各教育委員や地元の方々と協働することによって、裾野が広がっていくような事業というのを一番大切にしておりますので、その辺のところ何かありましたら教えていただければと思ひますのでよろしくお願ひいたします。
佐藤教育長	アウトリーチはここ数年ですか。4、5年ぐらい前からですか。
教育次長	15年ぐらいですね。特にここ10年間ぐらいかなり本数を増やしてきたということで。
佐藤教育長	4、5年ぐらい前から急に増えたんですか。
教育次長	そうですね。10年ぐらい前からかなり本数を増やしてきています。
佐藤教育長	それは非常に定着してきているということでしょうが、住民創造型というのは非常に定着してきて、宮城県にある文化ホールの中では断トツの評価を受けているんですね。東京の方からいろんな方々が来ても、一番最初にアクセスがあるのはここなんですね。県北の方では民間委託してしまったという噂も聞いているんですが、同じような施設を県で作ったものが、今は市町で運営しているんですが、予算に対する事業としては非常に価値のある芸術文化活動をしているということなんですね。もう一方は、ここで持っている住民創造型というのは一つのテーマなんです。皆さんも今日認識していただきたいのは、東京から来て、ただ参加して消費するだけ、文化とか音楽とか絵とか鑑賞するだけでなく、こちらから作り出して。今度のAZ9がたまたま仙台公演があったように、東京に行って公演してくるとか、こちらにも優れたものがあるんだと、東京にも負けないものがいっぱいあるんだということになると、文化の中でそっちの方にも視点が動いてくるのかなと思ひますから。まさに佐山委員が言われたように、そういう意味では育ててきているという強い想

佐藤教育長	いがあるって、この前の20周年記念もその成果が大きな力になって出てきているのかなと思って、感動しながら見ていました。アーティストとかクリエイターとか彼らも非常に楽しみで来ていると思うんですね。音楽とか映像とか詩とか、非常に花開いた場面だったかなと思っています。20周年については、また映像を編集したあとでご質問いただきたいと思います。
佐藤教育長	AZooはどんな内容の公演だったんですか。自分たちで作ったシナリオですか。報告していただければ。
教育次長	今回は自分たちのオリジナルの演劇なんですけど、舞台裏が舞台になっておまして、その舞台に出る前の楽屋を場面にしまして、そこで入れ変わり役者さんなりアイドル歌手なりバンドマンが出る幕間のコマを演劇にするというしかけで作っております。それぞれ出演者が自分のコマやセリフを作って自分で演じるという形で三つのユニットが入っている形になっておりました。それぞれ非常に若々しく、一生懸命本気で取り組んでいましたので、なかなか見ごたえのある作品になっておりました。毎年やるかと思っておりますので、ぜひ見ていただければと思います。
佐藤教育長	AZooのメンバーは、実際この地区に住んで、職業をちゃんと持っているんですね。
教育次長	いろいろですね。まだ学生の子もいますが、就職して仕事を持ってやっている子たちもいます。
佐藤教育長	ここに住んでいて練習して公演ということですね。こういうのが定着してくると嬉しいと思いますね。
	<質疑なし>

### 報告第3号 平成28年度第39回仙南地区自作視聴覚教材発表会の結果について

黒澤主幹より別紙資料2にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
船 迫 委 員	最近の参加の作品数と全国に推薦する基準について教えてください。
黒 澤 主 幹	昭和53年から始まって39回目を迎えましたが、過去は2桁の数字で参加をしていただいて、平成22年以降は1桁の数字で推移しております。作品を作ってほしいということで、色々な取り組みはしてきていますが、なかなか広がっていかないというのが、実情でございます。講座関係も自作教材に繋がるような講座の展開や出前講座で実際に自作教材を見ていただいて、理解を深めていただくなど、色々な形で行ってはいるんですが、今回は6作品ということで、伸び悩んでいる状況でございます。全国推薦については、審査員の方々に全国に出しても恥ずかしくないものということで選んでもらっていますが、今までですと、県の審査員の方々の審査も経て全国に行っていたものですから、それなりの評価を頂いていたと思います。県の審査がなくなったということで、ここでの審査員の方々により厳正な審査ということで、事前をお願いしております。一方で、直接出せるという強みもあるため、出せる作品は積極的に出していきたいと思っています。直した方が良い箇所があれば、それを制作者の方に直していただいております。
船 迫 委 員	これらの作品の活用はどのような状況ですか。
黒 澤 主 幹	過去にあったスライド作品は、すべてDVD化して貸し出しをしております。また

黒澤主幹	講座の際に、自作教材を見てもらおうということをしております。例えば、柴田町さんであれば、柴田町に関係する教材を見せるというような形です。地元の教材ですので、興味を持っていただければということで考えています。
船迫委員	柴田の大脇先生の作品も、毎年小学校の中学年に出前講座として、大脇先生自身も行って、スライドを使いながら町の素晴らしさを子どもたちに伝えるということで、活用していくことで本人も作り甲斐があると思うので、そういった活用の工夫が少しあればいいのかなと感じています。
黒澤主幹	昨日大脇先生の「ふるさと柴田の桜」の手直しを行いまして、中学生の英語のセリフを入れて一応完成版としてお渡ししました。それを4月からご利用されるということでした。
佐山委員	出品作品がだんだん減ってきているということで、気になるころなのですが、見てみますと毎回入選する人が似たようなところがあります。次回が40回でどういう企画をしているのかわからないですが、「仙南自作視聴覚教材発表会」というのが固すぎて、一般の人が出してみようかなという雰囲気になれないんですよね。今は一般の方々もデータ収集するビデオカメラをみんな持っていて、材料になるものはいっぱいあるはずなので、それを簡単に出せるような。質は落ちますが、例えばテレビでやっているおもしろビデオのような雰囲気で、私も出してみようかなというようにしかけができないかなと思っています。結局裾野を広げないと良いものが出てこなんじゃないかなという感じがするので、その辺は少しご検討いただければと思います。もちろん専門的に色んなものがあるんでしょうが、素人から見るとYouTubeなどにはずいぶん載っていて、これは面白いなと思いつながりながら見ている、一つの教材として仕上げるにはこれをどうすればいいのかななんて、難しいところなのでしょうが。そういうあたりから広げていくような、何かもうちょっとレベルを下げた形での取り組み方があっても良さそうだなと。今後先細りになってしまうような心配がありますので、その辺の工夫をお願いしたいなと思っています。
黒澤主幹	ネーミングが固いということで、昨年事業計画を出させていただいたときに、仮で「ふるさと教材フェア」という名前はどうでしょうかということをお話をして、一応良いんじゃないかということをお話を頂いたんですが、まだ日にちがあるので、これから検討してもうちょっと良い名前を付けて、より参加しやすい形にしたいと思っています。あと、今お話のあった短い時間での作品とかも、昔ですと、授業が45分なものですから、15分から20分くらいの教材ということで作っていただいた経緯がございます。今ですと、よく使われるのがNHK for schoolというインターネット上にあるコンテンツで、全部5分くらいなんです。それを授業時間中に電子黒板でパソコンにつないで、それに映し出して簡単に見ることができるというコンテンツがたくさんあるようです。そちらをお使いの学校も多くなってきていまして、そういうものうちの方で作っていただければ。教材と言ってしまとなかなかハードルが高いと考えられるのですが、コンテンツというくくりで、ちょっとハードルを下げた形で参加しやすく、作りやすくというようなものは、皆さま方が集まる機会や会議などの場で周知をしていきたいというふうに考えております。あとももちろん広報も含めてやっていきたいと思っています。
佐藤教育長	5分くらいのコーナーのようなものを作ってください。
佐藤教育長	今年は白石の我妻先生が初めて挑戦したんですか。

黒澤主幹	同じ学校に（過去に出品経験のある）平間先生がいらっしゃるのので、平間先生と一緒に作りいただきました。
佐藤教育長	新しい人が入ったということも頼もしいなと思っていたんですが、こういう風にグループの中からまた新しい方が出てくれば良いなと思います。
黒澤主幹	柴田町の伊藤タイ子様も初めて紙しばいを出していただいたのですが、これは大脇先生の紹介で、読み聞かせをされているという話があって、お話をしたら作っているものを発表していただけるということになったので、そういう繋がりを大事にしていきたいと思います。
佐藤教育長	出前講座の繋がりで教材を出してもらうようお願いしてみるのが良いかと思います。5分コーナーでも良いので。これからも今のご指摘を基にして、活用をするようにもっと強力に宣伝をして、それで活用回数が増えるようにしましょう。
	<質疑なし>

#### 報告第4号 AZ9ジュニア・アクターズ第24回公演の結果について

大内主事より別紙資料3にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	
佐山委員	演技をする子どもたちを見て、私もびっくりしました。傘をさした雨の精みたいな子の方言なんか抜群ですよ。引き込まれる演技力っていうのは、すごいなと思いました。学芸会ではできないですよ。あの子の名前はなんていうのですか。
大内主事	佐藤葵依ちゃんですね。村田第二小学校の児童です。
佐山委員	ファンになってしまいました。
佐藤教育長	アートや音楽、劇というものでプロの指導というのは短期間で物凄く質の高い表現活動をできるようにするんですね。学校の先生が一月かかって四苦八苦して劇を教えても、授業もあるので時間があればですが、なかなかそこまでいかないんです。公演の練習は何回くらいですか。20回くらいですかこの表を見ると。
大内主事	だいたい40回くらいですね。30後半くらい。
教育次長	学校の学習発表会よりも遥かに多くの回数で練習していたんですね。密度が高いというか。子どもを育てるところでは非常に大きな力になるかなと思うんですよ。皆さんもこれからこの子どもたちがどういうふうになっていくか注目してください。中には東京の方に行って大きな劇団に入って戻ってくる人がいるんじゃないかなと思って期待しています。ぜひ教育長、委員さん方も自分の学校とか地元から出ている子どもたちに声がけをしていただいて、良かった、頑張れなどの励ましをしてもらえればと思います。
	<質疑なし>

#### 9. 次回教育委員会定例会の日程について

佐藤教育長	平成29年5月29日午前10時から、次回の定例会を実施いたします。
-------	-----------------------------------

10. その他

- 平成29年度仙南地域広域行政事務組合教育費当初予算について

水戸教育次長より別紙資料4にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	< 質疑なし >
---------	----------

- 平成29年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算について

水戸教育次長より別紙資料5にてご説明申し上げます。

( 質 疑 )	< 質疑なし >
---------	----------

11. 閉 会 午前11時35分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

平成29年3月22日

教 育 長

署名委員